

【施策評価調査】

施策名	1-3-2	民間生活路線バスの維持確保対策		77	高年齢をはじめとした交通弱者の移動手段として、民間生活路線バスの維持確保を行ないます。
		高根沢町地域経営計画2006 該当ページ			
担当部課	総務企画部地域安全課	担当	危機管理	リーダー	岡本英男
		リーダー			
環境変化					現行の民間路線バスの運行に関しては、県及び関係市町と協調を図りつつ運行補助を実施していますが、路線や便数が削減されている現状を鑑み、路線バスの必要性について広域的な視点から検討を加え、新たな運行形態を研究していきます。(「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋)

指標

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標：生活路線バス1日当り便数(便/日)	平成16年度1日当り便数	計画	16便	16便	16便		
	16便	実績	8便	8便	15便		
指標：生活路線バス1日当り乗客数(人/日)	平成16年度平日1日当り乗客数	計画	260人	260人	260人		
	272.5人	実績	217.8人	232.1人	592.1人		
指標：		計画					
指標：		実績					
指標に関する特記事項							

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	4,800,000	6,000,000	6,500,000		
決算	5,181,800	5,949,333	4,857,213			

事務事業事後評価 20年度の検証

施策傘下事務事業	事業費	活動量(アウトプット)	施策への貢献度	施策達成にどう貢献しましたか？(アウトカム)			
民間生活路線バス運行補助	当初 6,500,000	維持するバス路線	B	高年齢等の交通弱者に対して、生活するための交通手段として関係市町の協調補助により運行し、地域住民の生活の安心、安全を確保し路線バスの維持を図りました。			
	決算 4,857,213	3路線 / 3路線		今後の方向性(自己評価)	廃止	今後の方向性(総合評価)	廃止
	当初			今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
	当初			今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
	当初			今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
	当初			今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	

施策事後評価 20年度の検証

自己評価	施策達成状況に関する評価	課題と今後の方向性
	総合評価	<p>平成20年度の1日あたりの便数及び乗客数は、実績としては伸びているが、これは、今回国庫補助路線(路線バス運営に係る費用に対してその収入が55%に達しないときに国、県、関係市町で補助を行う制度)であるバス運行対策費補助を実施し、宇都宮東武-馬頭車庫行の路線に対して補助を行ったことによるもので、実際には利用者が増えているのが現状である。従来の補助路線で比較した場合、便数で前年比-2、乗客数で前年比-29.4人と下回っております。</p> <p>継続的に施策展開されていると評価する。後期計画に向けて当施策は廃止とするが、新たな公共交通システムへの移行に伴う、十分な説明と周知を徹底すること。</p>